

海兵隊は「日本を守る」とは 無縁の軍隊



普天間基地は、もともと米軍が戦争末期に国際条約を破り、**住民の土地を奪って造ったもの**です。日本の防衛とは無関係にイラクやアフガンなど世界の戦争に真っ先に出撃する**殴り込み部隊・海兵隊**の基地です。

普天間基地は学校、住宅、病院など密集地のど真ん中にあり、真上で大型ヘリが1日に数百回も訓練飛行を繰り返し、住民は毎日爆音や墜落の危機にさらされています。

だからアメリカの高官でさえ「**こんな危険な基地は即時閉鎖しなければならない**」と言っているのです。政府は、米軍の駐留は日本を守る「抑止力」として必要だといいますが、ワインバーガー元長官も「**海兵隊は日本の防衛に当てられていない**」(82年)とはっきり語っています。

奪った上に、危険な基地は無条件に撤去・返還するのが当然です。

政府は「主権国家」というなら、米軍基地のたらい回しをやめ、「基地はいらぬ」という県民、国民の立場にたってアメリカと堂々と交渉すべきではないでしょうか。

政府はアメリカよりも
県民・国民の声を聞け

無条件撤去・返還こそ 解決への道

普天間基地問題

「普天間問題」で5月4日、鳩山首相はついに基地の「県内移設」と徳之島への一部移転を明らかにしました。これは沖縄県民や徳之島島民、国民の願いを踏みにじるものであり、民主党の公約にも反するものです。

「基地はいらぬ」と徳之島では4月18日、島民の6割が反対集会を開催。沖縄では4月25日、党派や組合の違いを超えて県民大会を開催、9万人を超える人々が心を一つに怒りと固い決意を日米両政府に示す歴史的な大集会となりました。

9万人が集まった沖縄県民大会 2010年4月25日

安保破棄大阪実行委員会

〒543-0014
大阪市天王寺区玉造元町17-22

TEL 06-6763-3833 FAX 06-6763-3836
HP <http://www.anpo-osk.jp>